

【市長コメント】

令和6年5月26日、当時7歳の島崎奈桜ちゃんが亡くなる痛ましい事案が発生しました。あれからもう6か月以上も経過をしました。あらためて島崎奈桜ちゃんのご冥福を心よりお祈り申し上げます。

この事案は、二度と起こしてはならないことであると痛烈に感じ、市がやるべきことはなかったのか、内部検証を行うことを指示しました。

このたび、内部検証報告書の指摘により、多くの課題があることが分かり、あらためて市の体制の甘さを認識いたしました。

この体制に陥っていたことは市長である私の責任です。

市が関わっていながら、どうして救えなかったのか、自問自答を繰り返す日々であり、大勢の大人が関わりながらも、奈桜ちゃんの痛みに気づかず、幼い命を守りきれなかったことは、悔やんでも悔やみきれません。

犬山市は、子どもたちを徹底的に守り、健やかに育むことができ、子どもたちの幸せを一緒に考えられるまちでありたいと思っています。ここから内部検証の報告書を受けて、犬山モデルとなり得る実効性のある独自の虐待対応マニュアルを作成していきます。子どもの権利に関する条例を定めて、学ぶ場をつくったり、大人も子どもの権利を知る機会をつくっていきます。その先にあるのは、子どもの最善の利益のためです。

最後に、この内部検証結果を重く受け止め、同様の事案を二度と起こすことがないよう、危機感を持って再発防止対策に取り組むとともに、島崎奈桜ちゃんの尊い命を重く受け止め、職員ひとり一人が業務に取り組むことをここに誓います。

犬山市長 原 欣伸